

学校教育目標 『よりよく生きる』

南 中 学 校 048-982-1066

さわやか相談室 048-981-8749

HP <https://www.yoshikawa.ed.jp/minami-jh>



R6.4.8現在	学級数	生徒数
1 学 年	4	125
2 学 年	4	140
3 学 年	4	147
特別支援	5	26
合 計	17	438

よりよく生きる

校長 野辺 茂樹

観測史上最も高い最高気温を記録した日があると思えば、数日後には肌寒い日が続きました。そのような中で学校やさくら通りを彩るソメイヨシノは満開の時期を向うかのように少しずつ美しい花弁を開き始め、まるで私達と共に新たな年度の始まりに向け歩み始めているようにさえ感じられます。

いよいよ今日から、令和6年度が始まります。今年度、本校は新入生135名を迎え、全校生徒数438名、17学級（特別支援学級5学級を含む）、教職員32名でスタートします。どうぞよろしくお願いいたします。

ところで、皆さんは「学校」とはどんな場所だと考えていますか。教育学者の平塚益徳（ひらつかますのり、1907～1981）氏は、「学校に必要な7つの条件」の中で、学校について以下のように述べています。

- 1 学校とは、元来、静かな場所である。
- 2 学校とは、神聖な清められた場所である。
- 3 学校とは、専門的な教師により教えられ導かれる場所である。
- 4 学校とは、嫌いな教科が好きに、不得意な教科が得意になる場所である。
- 5 学校とは、すべてが身につく学習が展開される場所である。
- 6 学校とは、生涯にわたるよき友に出会える場所である。
- 7 学校とは、優れた教師につくことができる場所である。

私自身の中学生時代も（ずい分前のことになりますが）、現在でも、不易の部分において、学校のもつ良さや学校が愛される意義について、変わらないものがあると考えています。静かで落ち着いた環境で、成長期真っ只中の中学生が勉強に運動にと日々切磋琢磨し、教育への情熱と使命感に満ちた教師のいる、生徒同士そして恩師との人生の宝物となる出会いのある、そんな学校を目指していきます。

さて、今年度も本市教育大綱『家族を 郷土を愛し 志を立て 凜として生きてゆく』を受け、学校教育目標『よりよく生きる』を掲げ、その具現化に向けて取り組んでいきます。人はみな、豊かにして無限の可能性を持っています。ともに出会い、学び、感動し、成長し合える場としての学校を全力で目指します。

併せて、生徒の皆さんには本校の目指す生徒像である『自ら学ぶ生徒』『自らあいさつをかわす生徒』『自ら汗を流す生徒』であってほしいと考えています。それぞれに対し、

「自ら学ぶ生徒」…○目標を持ち、進んで学習できる生徒

○人の話をよく聞き、自分の考えが言える生徒

○分かり、できるまで粘り強く取り組む生徒

「自らあいさつをかわす生徒」…○明るいあいさつや返事ができる生徒

○思いやりの心を持ち、自他を大切にできる生徒

○正しい判断に基づき、自ら進んで行動する生徒

○社会に主体的に関わり、貢献しようとする生徒

「自ら汗を流す生徒」…○困難に負けず、最後までやり遂げられる生徒

○自ら進んで心と体を鍛えようとする生徒

○進んで健康で安全な生活を送る生徒

と考えています。

今年度も本校教職員一同、これまでに築き上げられた伝統を受け継ぎ、新たな価値の創造を目指し、家庭・地域と一体となり、活力に満ちた魅力ある教育活動に取り組む所存です。どうぞよろしくお願いいたします。